

埼玉AALA40周年記念企画 2015連帯のつどい

満蒙開拓団平和記念館・長岳寺・松代大本営象山地下壕 大島博光記念館・無言館・信濃デッサン館を訪れる旅

6月3日(水)

★満蒙開拓団平和記念館 長岳寺

中国東北地方に13年間だけ存在した幻の国「満州国」。ここで「20町歩の地主になれる」という言葉に踊らされて、日本から約27万人の農業移民(満蒙開拓団)が渡って

きました。1945年8月9日、ソ連軍の侵攻で満州は戦場と化し、開拓団の多くに犠牲が出ました。

平和記念館は、2013年4月25日に開館。館内では戦前から戦後に至る満蒙開拓の歴史を紹介。開拓体験者による証言は、「読む」(文章)「観る」(映像)の二つで表現しています。



満蒙開拓団平和記念館



長岳寺

6月4日(木)

★大島博光(はっこう)記念館

大島博光(1910.11-2006.1)信州松代生まれの詩人。フランス文学者。「フランスの起床ラッパ」アラゴンやエリュアール、フランスのレジスタンスの詩を紹介している。1974年、チリ人民支援連帯日本委員会の代表幹事を務める。大島博光の作品の展示・普及とともに地域の文化活動の場としても活用されています。



大島博光記念館

★松代大本営象山地下壕

アジア・太平洋戦争末期、国体護持のため、日本本土を舞台とした本土決戦に備え、大本営はじめ軍と政府の中枢の安全確保の地下壕と関連施設をつくり、天皇・政府・軍などを移そうと考えました。1944年秋から建設が始まり1945年8月まで工事が進められていました。労働力の主体は、朝鮮人労働者で中には強制連行された若い人も多数含まれていました。最盛期の1945年4月頃は、1万人ほど働いており、朝鮮人労働者は、6千人を超えていたといわれています。



松代大本営象山地下壕

★無言館・信濃デッサン館

窪島誠一郎氏により、信濃デッサン館の分館として1997年に開館。

2008年に第2展示館「傷ついた画布のドーム」がオープンした。アジア・太平洋戦争中、志半ばで戦場に散ったが学生たちの残した絵画・作品・イーゼルなどの愛用品を収蔵・展示しています。展示される絵画は何も語らず「無言」ですが、観る側に多くを語りかけるでしょう。



無言館



信濃デッサン館

2015連帯のつどい 埼玉AALA創立40周年記念企画

満蒙開拓団平和記念館・長岳寺・松代大本営象山地下壕 大島博光記念館・無言館・信濃デッサン館を訪れる旅

今年は、アジア・太平洋地域で侵略戦争を重ねた軍国主義の敗北から 70 年の年です。
しかし、安倍政権の過去の歴史を直視しない姿勢が、アジア諸国との和解や対話の上で障害
になっています。さらに、自衛隊が海外で戦争が出来るようにする「戦争立法」を作ろうと
しています。戦争を知らない世代が大半となりつつある今、映画「望郷の鐘」の長野県阿智
村「満蒙開拓団平和記念館」・長岳寺や松代大本営象山地下壕、戦没画学生慰霊美術館「無言
館」などを訪ね、アジア・太平洋戦争の実相を「見、聞き、感じる」旅に参加しませんか。

- 日 時 **6月3日(水)・4日(木) 大型バス1台 募集35名**
- 参加費 **26,000**円(1泊2食付き・昼食代を含む) ※出発時集金
- 宿 泊 昼神グランドホテル天心(長野県下伊那郡阿智村智里331-5)
TEL 0265-43-3434
- 募集期間 4月8日(木)～4月30日(木) ※定員に達し次第、締め切ります。
- 募集方法 事務所に、申込書を郵送またはFAXで送ってください。
埼玉AALA FAX048-832-9565
〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-14-11ゆないてい浦和
※参加者には、後日案内を送ります。

	月 日	行 程
1日目	6月3日 (水)	集合7:45 出発8:00 大宮ソニックシティ ～ 与野IC ～ 美女木JCT ～ 熊野町JCT ～ 西新宿JCT ～ 休憩 大宮ソニックシティ ～ 与野IC ～ 美女木JCT ～ 熊野町JCT ～ 西新宿JCT ～ 休憩 ～ 諏訪湖SA～飯田IC～信州つけものセンター伊那路 ～ 満蒙開拓平和記念館・長岳寺 ～ 到着17:00予定 ～ 昼神グランドホテル天心 宿泊
2日目	6月4日 (木)	出発8:30 昼神グランドホテル～飯田山本IC～岡谷JCT～姥捨SA～長野IC～大島博光記念館 ～ はなや～松代大本営象山地下壕～長野IC～上田菅平IC～無言館・信濃デッサン館 ～ 上田菅平IC～上里SA～与野IC～大宮ソニックシティ

申 込 書

ふりがな		男 女	TEL	
氏 名			携帯 (緊急)	
住 所	〒		FAX	